

# ふかまちのまど

第169号 08年06月1日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡所 63-4834

## 深町町民会館だより

### 運営委員会開催

深町町民会館長 中村 純  
平成二十年度の深町町民会館運営委員会を四月二十七日(日)に開催しました。主に次の議事について審議し、承認されました。

- ①平成十九年度会館使用報告 ※使用総件数 一〇四件 使用総人数 一六六二名
- ②平成十九年度会計報告 ※別記決算書参照
- ③平成二十年年度会館使用予定 予算案
- ④管理運営規定一部改正
- ⑤運営委員に新たに民生委員を加える。

平成 19 年度深町町民会館会計収支決算書

入		出	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
繰越金	407,230	電気代	70,927
委託料	227,695	ガス代	23,940
利子	646	水道代	30,108
		浄化槽管理費	75,295
		消耗品費	398
		営繕費	9,520
		次年度繰越金	425,383
合計	635,571	合計	635,571

※会館の管理・使用についてお気付きの点等があれば、管理人・藤川敏和へご連絡下さい。(電話 63-4834)

## 尚寿会だより

尚寿会会長 幸谷 満夫

先月号の「ふかまちのまど」で尚寿会の新役員を紹介しましたが、次の役員が記載漏れとなっていました。お詫び致します。

副会長 国安 留子

## 深小PTAだより

### PTA会長就任の挨拶

深小PTA会長 河原秀樹

地域の皆様には、平素よりPTA活動へのご理解とご支援をいただき、心より感謝しております。この度、PTA会長を務めさせていただきますことになりました。河原秀樹です。中組サンヒルズ講に在任しております。深町に来て約七年経ちました。深町に來て会長という大役を引き受け、緊張と不安の気持ち一杯ですが、引き受けた以上は、今日まで築いてこられた伝統を絶や

## 深小だより

### 深小のよき校風

深小学校教諭 高上 昭彦

はじめまして、四月の移動により、三原市立八幡小学校から深小学校にお世話になることになりました。元氣いっぱい四年生を受け持たせていただいております。就任から二ヶ月がたちました。まだ学校のことや地域のことですが、戸惑うことは多いのですが、毎日が充実して心穏やかに過ごさせていただいております。それは、子どもたちの明るい表情と素直さ、そして子どもたちみんな優しく、仲がよいところがとてもいいなあといつも感じているからです。



特に高学年の低学年への気遣いは、学校全体の雰囲気を作りだし、よき校風を築いているなど、感心ばかりしています。保護者の方、地域の方に大切に育ててもらっている子どもたちからこそなのでしょう。自然の中でのびのびと育っている子どもたちと日々のかかわりに、幸せを感じながら、子どもたちの持つ力を一杯伸ばすことができるよう、取り組んでいきたいと思っております。皆様よろしくお願いたします。



ことのないよう、また、子供達のより良い環境作りを目指して微力ながら一生懸命頑張っています。どうぞよろしくお願いたします。さて、深小学校において、本年度の九月から「放課後子ども教室」の運営(ボランティアスタッフの確保等)について、地域の皆様のご協力が不可欠でございます。何とぞご理解とご協力をよろしくお願致します。

## 二中だより

### 二中では

学校長 片山 幹夫

二中では、授業の始終のあいさつを大切にしています。ベルが鳴ると同時に、全員起立して、「これから〇〇の授業を始めます」の号令に、「ハイ」「お願いします」と全員で唱和し、授業を始めます。私はよく「何に対して、礼をしているのか」と訊ねてやります。すると、ほとんどの子が「先生に対して」と答えます。



それに対して、私が言うことは次のようなことです。まず第一に、「時」に対して感謝。今まで、今でも国によっては、少しでも勉強できない青少年がどれだけいるのか。第二に、この整った学習環境「場」に対しての感謝。この二中ぐらいいきれいで整った学校はありません。第三に、これから習うことができる内容、人類が積み重ねてきた「文化」に対して感謝。各教科で学習する内容を発見した今までの人々は、血の滲むような努力をしてきたのです。それから、それを教えてくださる「先生」に対して感謝。先生方は、どのようにしたら、少しでもみんなにわかりやすく教えることができるか、いつでも工夫しておられます。どうですか。少しは、気持ちを込めて「礼」をする気になりましたか。このことに限らず、何に対しても感謝の気持ちを忘れない、いつも笑顔で「ありがたうございませう」と言える生徒を育てていきたい、と思っております。

## 深町子どもを守る会

### 子どもをみんなで見守りましょう



深小の子どもは午後四時二十分頃下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。  
○あいさつ、声かけをしましょう。

謹んでお悔やみ申し上げます

高崎 出旭 様 八十歳  
(中組田屋講) 五月八日

## 深町各種団体六月行事予定

- ◆町内会連合会
- ◆市民ゲートボール大会十五日
- ◆小学校・幼稚園
- ◆英語活動 二日
- ◆保健実習 三日
- ◆広島交響楽団鑑賞会 五日
- ◆英語活動 六日
- ◆体重測定 九日
- ◆貯金日・集金日 十日
- ◆聴力・視力検査 十日
- ◆耳鼻科検診 十日
- ◆参観日・救急法・地区懇 十日
- ◆給食試食会 十九日
- ◆英語活動 二十四日
- ◆防犯教室・ハウス 二六日
- ◆テーマタイム・英語活動 二七日
- ◆如水館中学・高校
- ◆消防訓練 四日
- ◆全校一斉奉仕活動 十一日
- ◆振興会総会 十二日
- ◆合唱コンクール 二二日
- ◆水明祭 二二日

## 町内会新規入会者紹介

原 俊克 様 (中組 千川講)

## 展望席

梅雨入りとともにムシムシとした季節を迎えました。ムシムシする夜はムカデが何処からともなく出没し、突然手や足を噛まれ激痛に飛び起きることがあります。この頃から秋にかけてほとんどの虫が地上に出てきて、人間と虫との戦いと共生が本格化します。

昭和三十年頃までは、大抵の人が回虫やサナダムシ等の寄生虫をお腹に飼っていました。寄生虫駆除のため、海藻(海人草)を煎じた何ともいえない臭いと味のする汁を、鼻をつまみながら飲んだものです。寄生虫の研究をして、藤田紘一郎さん(東京医科大学名誉教授)は、「寄生虫の分泌液がアレルギー反応を抑え、免疫力を高めている。これは寄生虫ばかりでなく人の体にいる腸内細菌などのバイキンも同じ働きをしている。虫やバイキンを徹底的に排除した行き過ぎた清潔は免疫力を低下させている。また、余りにもきれいな社会は心の安定が失われてくる。」と言っています。

心を和ませてくれる虫、子供が好きなかぶと虫、絵や歌になる蝶や秋の虫、嫌われ者の蠅・蚊・ゴキブリ、無農薬の虫食い野菜は買う人もいませんが穀物や野菜の生長を助けてくれる昆虫や地中の微生物、人の心に潜んでいる仕事の虫、浮気の虫等々。虫の知らせで難を逃れることもありません。人間は虫との絶縁は不可能なようです。世の中には虫の好かない奴もおり、虫の居所の悪いこともありますが、いろんな虫と喧嘩しながらも共に仲良く暮らしましょう。一寸の虫にも五分の魂・・・

